令和６年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
公　民	公共	２	３－１～３－４

１．学習の到達目標

１．人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，グローバル化する国際社会に主体的に生きるために必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
２．現実社会の諸課題の解決に向けて，基本的原理を活用して事実を基に公正に判断する力，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	第１編 公共の扉 第１章　公共的な空間をつくる私たち 第２章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第３章　公共的な空間における基本的原理	・孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として他者との協働により当事者として公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 ・古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，公共的な空間における基本的原理を理解する。
２学期	第２編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第１章 法的な主体となる私たち ・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義 第２章 政治的な主体となる私たち ・政治参加と公正な世論形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割	・法やルールを定める時には，どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 ・契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。・個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと責任を理解する。 ・民主政治を推進するために，私たちが果たすべき責任を理解する。 ・主権国家が並び立つ国際社会は，どのように成り立っているのかを理解する。・活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために 必要なことを理解する。 ・グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において，将来の働き方をどう考えていけばよいか理解する。
３学期	第３章　経済的な主体となる私たち ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界 ・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化	・公正で自由な経済活動を通して，市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。 ・経済において，金融市場はどのような役割を果たしているのか理解する。 ・少子高齢化が進むなかで，政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。 ・経済がグローバル化するなかで，すべての人が幸福に暮らすために，国際社会や 私たちがどうあるべきか考える。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期試験（中間・期末）　平常点（ノート提出，授業態度）による。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価の内容	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な 空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び 社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	新公共（第一学習社）
副　教　材	公共ノート（第一学習社）